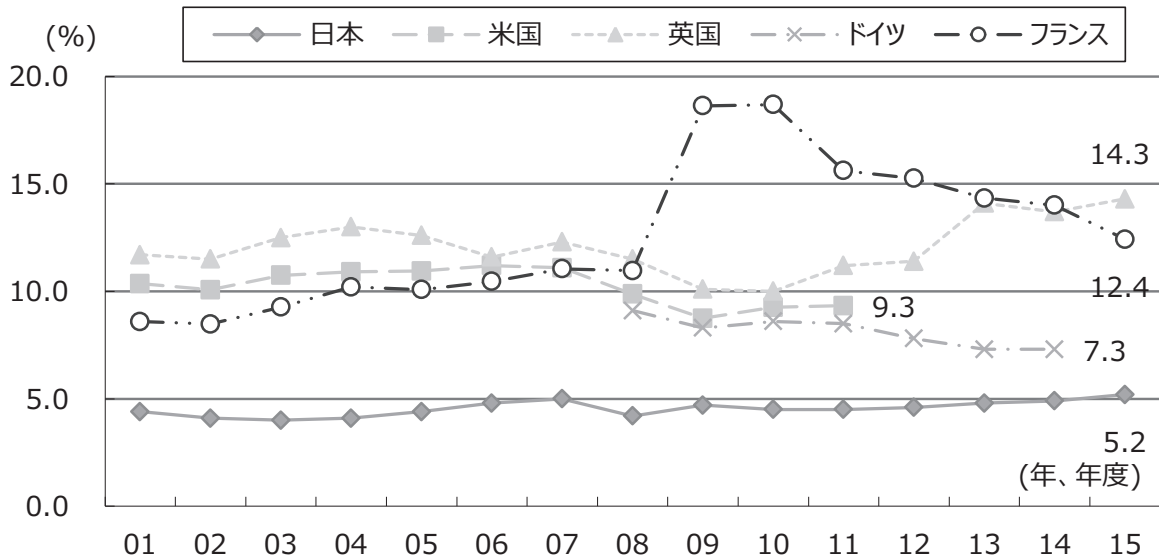


起業・創業

我が国は、国際的に見て開業率が低く、起業への関心を高めることと周囲の勧め等が重要となってきます。起業前の起業希望者・起業準備者は性別や年齢等によって様々な課題を抱えており、起業後についても、円滑に成長を遂げるためには各成長段階において適切な資金調達や人材確保等に取り組むことが重要です。

開業率の国際比較



起業家が企業に関心を持ったきっかけ

周囲の勧めや周囲の起業家の存在が重要なきっかけに

		第1位	第2位	第3位
40代以下	男性 (n=961)	周囲の起業家・経営者の影響 (40.7%)	勤務先ではやりたいことができなかった(29.2%)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(27.5%)
	女性 (n=75)	周囲に勧められた (33.3%)	家庭環境の変化 (結婚・出産等)(25.3%)	周囲の起業家・経営者の影響(22.7%)
50代	男性 (n=809)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(35.7%)	勤務先ではやりたいことができなかった(28.4%)	周囲の起業家・経営者の影響(27.3%)
	女性 (n=107)	周囲に勧められた (37.4%)	家庭環境の変化 (結婚・出産等)(29.0%)	勤務先ではやりたいことができなかった(23.4%)
60代以上	男性 (n=949)	周囲の起業家・経営者の影響 (25.2%)	周囲に勧められた (21.9%)	勤務先の先行き不安・待遇悪化(21.7%)
	女性 (n=99)	勤務先ではやりたいことができなかった(30.3%)	周囲に勧められた (26.3%)	事業に活かせる免許・資格の取得(24.2%)

図4：中小企業庁委託「起業・創業の実態に関する調査」(2016年11月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注)1. 起業を実現した起業家が起業に関心をもったきっかけについて集計している。

2. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

事業の承継・M&A、撤退

事業承継は、親族以外の承継が全体の3分の1を占め、多くの場合は、社内の人材が後継者となっています。経営者が事業承継の準備に着手する上では、周囲からの働きかけが重要です。統合(M&A)の検討